

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来！チャレンジ21」](#) > [2003年放送分](#)
[7月19日放送分 廃タイヤから宝をつくれ！ ～山梨県・異業種グループの挑戦～](#)

7月19日放送分 廃タイヤから宝をつくれ！ ～山梨県・異業種グループの挑戦～

7月19日 (TX・TVO・TSC)

20日 (TVA・TVH・OX・TVQ・RCC・TVQ・OTV)

21日 (BSJ)

山梨県のアイディーコーポレーション(株)は、環境問題、なかでも廃タイヤの処理問題の解決に力を注いでいる会社。一般的なりサイクル利用として廃タイヤはボイラー等の燃料とされるが、その後に残る『燃えカス』の処理が問題となっている。

そこで当社は有効利用を目指した研究の末、『燃えカス』を原料としたコンクリート添加剤を開発した。社会貢献事業の確立を目標とする当社のリ・リサイクルとも言える取り組みを紹介する。

廃タイヤから宝をつくれ！

～山梨県・異業種グループの挑戦～

[視聴覚教材No. TV15-16](#)

[動画配信中\(新規ウィンドウ\)](#)



タイヤを転がしながら志垣さん登場。

今日は廃タイヤの新しいリサイクル方法を考え出した山梨県のアイ・ディー・コーポレーション(株)を訪ねる。こちらが有泉社長。





リサイクルに役立ててもらおうと持ってきた廃タイヤを差し出すと・・・「タイヤ自体は処理していないんです。ここではタイヤのパウダー（焼却灰）を処理しています」と有泉社長。

こちらの会社で目をつけたのが、タイヤが燃料として再利用された後に残った焼却灰。これが出来上がった製品。



製品が利用されていたのは土砂崩れを防ぐコンクリート壁。施行前のコンクリートに少量混ぜる事により、このような灰色になる。通常の白い壁よりも周辺の環境に調和、照り返しを防ぎ、耐久性も向上する。

昔からの異業種の仲間が集まり、会社を立ち上げた。異業種だと色々な観点から考えられるのがメリットだという。

POINT: 異業種から出た斬新なアイデアには宝が隠れている。



「こういう時代に普通のことをしていてもそ



れだけでは不安。未来に繋がる革新的な
ものを見いだせれば、今の時代の武器に
なる」と有泉社長は語る。

POINT:時代の流れを読み、革新的なモノ
を見いだす。



山梨県中小企業団体中央会の新海氏は
「研究開発型の企業であること、まだまだ
これからという若い経営者・スタッフだとい
うこともこの会社の魅力」と話す。



コンクリートの壁で騒音をなくせないかとい
う発想から生まれた新製品。



開発に協力した山梨大学の山田工学博
士。通常、コンクリートは音を吸わないが、
実験により、コンクリートの表面に穴を開
けることで音が吸収されることが分かっ
た。



「知らないが為に色々な方向も見ますし、
試しもあるし、勉強もある。」と有泉社長。



知らなかったことが強みとなり、異業種だからこそ出たアイデアが実を結んだ。

[ひとつ上の階層へ](#)

[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN